

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2025年7月24日

八戸市長 熊谷 雄一 殿



提出者

住 所 八戸市沼館一丁目7番38号

氏 名 西浦水道建設工業株式会社

代表取締役 小川 健吾

電話番号 0178-22-5167

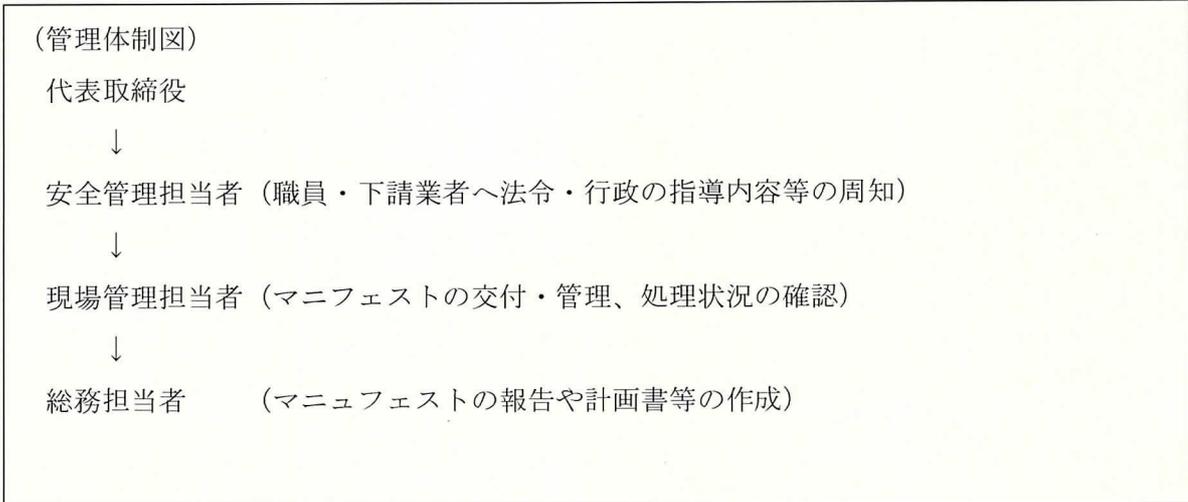
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	西浦水道建設工業株式会社
事業場の所在地	八戸市沼館一丁目7番38号
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	07 職別工事業
② 事業の規模	令和6年度 完工高 1,163,138 千円
② 従業員数	44名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照（別紙1）

（日本産業規格A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 ( 6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	排出量	2291.834 t	t
	・(これまでに実施した取組) ・適切な材料数量の発注		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	排出量	2500.000 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・梱包材の簡素化を推進 ・産業廃棄物が減少する工法の検討を行う		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 木くず、廃プラスチック類、コンクリート、陶磁器くずの分別化
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物についても、出来る限り分別を促進する

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	全処理委託量	2289.904 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	1.93 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2280.56 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

## (第5面)

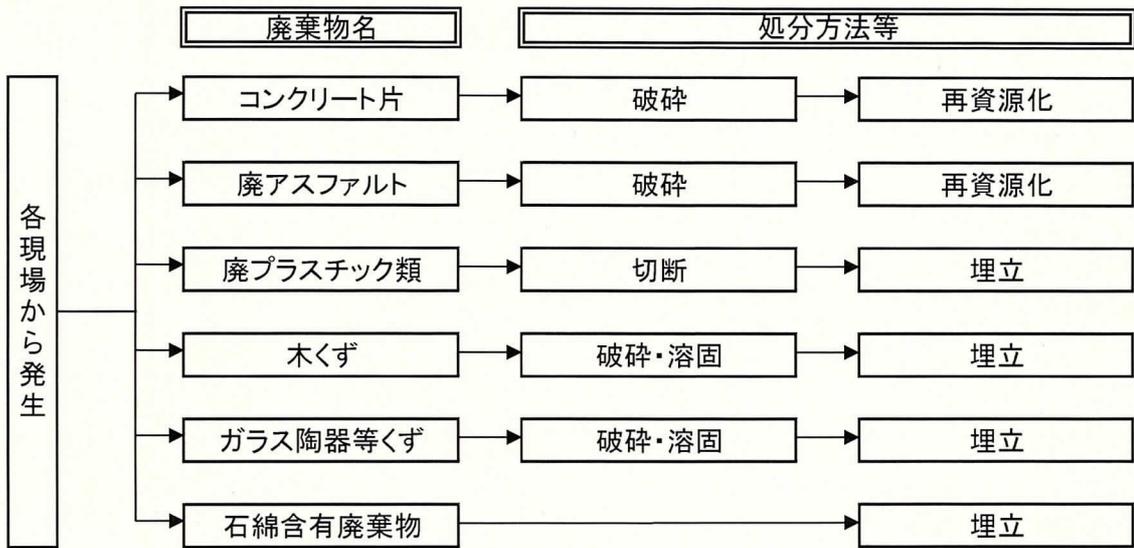
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙参照(別紙2)	
	全処理委託量	2500 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	2.0 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2489 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理の工程



## 産業廃棄物の種類別排出量

名称		計 画										
		A 排出量 (t)	B 自ら再生利用 行った量 (t)	C 自ら熱回収を 行った量 (t)	D 自ら中間処理によ り減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又 は海洋投入処分を 行った量 (t)	F 産業廃棄物の 全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業 者への処理委託量 (t)	H 再生利用業者への 処理委託量(t)	I 認定熱回収業者 への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外 の熱回収業者への 処理委託量(t)	
産業廃棄物の種類	前年度実績 / 今年度の計画	当該事業場にお いて生じた産業廃 棄物の種類ごとの 量	Aの量のうち、 自ら再生利用し た量	Aの量のうち熱 回収を行った量	Aの量のうち、自ら中 間処理により減量し た量	Aの量のうち、自ら 埋立処分又は海洋 投入処分した量	中間処理及び 最終処分を委 託した量	Fの量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	Fの量のうち、処理業 者への再生利用委託 量 (I、J除く)	Fの量のうち、認定熱 回収施設設置者であ る処理業者への焼却 処理委託量	Fの量のうち、認定熱 回収施設設置者以外 の熱回収を行っている 処理業者への焼却 処理委託量	
建設汚泥	現状	1.93						1.93	1.93			
	計画	2.0						2.0	2.0			
廃プラスチック類	現状	3.74						3.74				
	計画	3.0						3.0				
木くず	現状	1.38						1.38				
	計画	2.0						2.0				
コンクリート片	現状	53.21						53.21	53.21			
	計画	70.0						70.0	70.0			
ガラス陶磁器等くず	現状	2.384						2.384				
	計画	2.0						2.0				
石綿含有産業廃棄物	現状	0.07						0.07				
	計画	1.0						1.0				
廃アスファルト	現状	2227.35						2227.35	2227.35			
	計画	2419.0						2419.0	2419.0			
建設混合廃棄物	現状	1.77						1.77				
	計画	1.0						1.0				
合計	現状	2291.834	0	0	0	0	0	2291.834	1.93	2280.56	0	0
	計画	2500.000	0	0	0	0	0	2500.000	2.000	2489.00	0	0